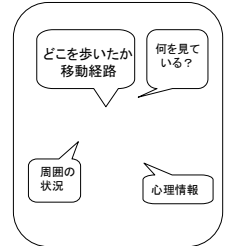
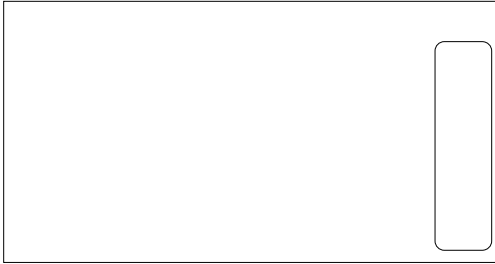


# 回遊行動モデリングのための計測システムの構築

北澤 桂, 小西勇介, 柴崎亮介

## 1. 回遊行動モデリングの必要性



## 2. 行動モデルのフレームワーク設定

各買い物客は、意識的・無意識的な様々な欲求(タスク)を持っている。「～を買おう」と具体的に意識されているタスクもあれば、食事時になって初めて知覚される「空腹だから何か食べたい」というタスクもある。こうしたタスクは外部環境からの刺激や生理的作用、記憶・知識の連想などによって、想起・意識レベルの変動を頻繁に生じる。

顕在化・具体化されているタスクについて、買い物客はその達成を望む。その際、以下の3点を考慮した**行動スケジューリング**を行う。

設定されたスケジュールも、以下の要因により随時ダイナミックに変化する。

商業施設や繁華街における

■ 歩行軌跡 ←

買い物客の

■ 視野映像

データ取得・解析ツール

ERROR: rangecheck  
OFFENDING COMMAND: .buildcmap

STACK:

-dictionary-  
/WinCharSetFFFF-VTT874F74EEt  
/CMap  
-dictionary-  
/WinCharSetFFFF-VTT874F74EEt